

クイックスタートガイド (behringer.com にてマニュアルをチェック)



XENYX XL3200/XL2400/XL1600

Premium 32/24/16-Input 4-Bus Live Mixer
with XENYX Mic Preamps and British EQs

JP 安全にお使いいただくために



注意

感電の恐れがありますので、カバーやその他の部品を取り外したり、開けたりしないでください。高品質なプロ用スピーカーケーブル (1/4" TS 標準ケーブルおよびツイスト ロッキング プラグケーブル) を使用してください。



注意

火事および感電の危険を防ぐため、本装置を水分や湿気のあるところには設置しないで下さい。装置には決して水分がかからないように注意し、花瓶など水分を含んだものは、装置の上には置かないようにしてください。



注意

このマークが表示されている箇所には、内部に高圧電流が生じています。手を触れると感電の恐れがあります。



注意

取り扱いとお手入れの方法についての重要な説明が付属の取扱説明書に記載されています。ご使用前に良くお読みください。



注意

1. 取扱説明書を通してご覧ください。
2. 取扱説明書を大切に保管してください。
3. 警告に従ってください。
4. 指示に従ってください。
5. 本機を水の近くで使用しないでください。
6. お手入れの際は常に乾燥した布巾を使用してください。
7. 本機は、取扱説明書の指示に従い、適切な換気を妨げない場所に設置してください。取扱説明書に従って設置してください。
8. 本機は、電気ヒーターや温風機器、ストーブ、調理台やアンプといった熱源から離して設置してください。
9. 二極式プラグおよびアースタイプ (三芯) プラグの安全ピンは取り外さないでください。二極式プラグにはピンが二本ついており、そのうち一本はもう一方よりも幅が広がっています。アースタイプの三芯プラグには二本のピンに加えてアース用のピンが一本ついてあります。これらの幅の広いピン、およびアースピンは、安全のためのもの

のです。備え付けのプラグが、お使いのコンセントの形状と異なる場合は、電気技師に相談してコンセントの交換をして下さい。

10. 電源コードを踏みつけたり、挟んだりしないようご注意ください。電源コードやプラグ、コンセント及び製品との接続には十分にご注意ください。

11. すべての装置の接地 (アース) が確保されていることを確認して下さい。



12. 電源タップや電源プラグは電源遮断機として利用されている場合には、これが直ぐに操作できるよう手元に設置して下さい。

13. 付属品は本機製造元が指定したもののみをお使いください。

14. カートスタンド、三脚、ブラケット、テーブルなどは、本機製造元が指定したものの、もしくは本機の付属品となるもののみをお使いください。カートを使用時の運搬の際は、器具の落下による怪我に十分ご注意ください。

15. 雷雨の場合、もしくは長期間ご使用にならない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

16. 故障の際は当社指定のサービス技術者にお問い合わせください。電源コードもしくはプラグの損傷、液体の装置内への浸入、装置の上に物が落下した場合、雨や湿気に装置が晒されてしまった場合、正常に作動しない場合、もしくは装置を地面に落下させてしまった場合など、いかなる形であれ装置に損傷が加わった場合は、装置の修理・点検を受けてください。



17. 本製品に電源コードが付属されている場合、付属の電源コードは本製品以外ではご使用いたしません。電源コードは必ず本製品に付属された電源コードのみご使用ください。

法的放棄

技術的な仕様および製品の外観は予告なく変更される場合があります。またその内容の正確性について、いかなる保証をするものではありません。BEHRINGER, KLARK TEKNIK, MIDAS, BUGERA, および TURBOSOUND は、MUSIC GROUP (MUSIC-GROUP.COM) のブランドです。すべての商標はそれぞれの所有者の財産です。MUSIC GROUP は、ここに含まれたすべて、もしくは一部の記述、画像および声明を基にお客様が起こした行動によって生じたいかなる損害・不利益等に関して一切の責任を負いません。色およびス

ペックが製品と微妙に異なる場合があります。MUSIC GROUP 製品の販売は、当社の正規代理店のみが行っています。ディストリビューターとディーラーは MUSIC GROUP の代理人ではなく、あらゆる表現、暗示された約束、説明等によって MUSIC GROUP を拘束する権利はまったくありません。この説明書は、著作権保護されています。本取扱説明書に記載された情報内容は、MUSIC GROUP IP LTD. からの書面による事前の許諾がない限り、いかなる利用者もこれを複製、使用、変更、送信、頒布、入れ替え、工作することは禁じられています。

製権所有
© 2013 MUSIC Group IP Ltd.
Trident Chambers, Wickhams Cay, P.O. Box 146,
Road Town, Tortola, British Virgin Islands

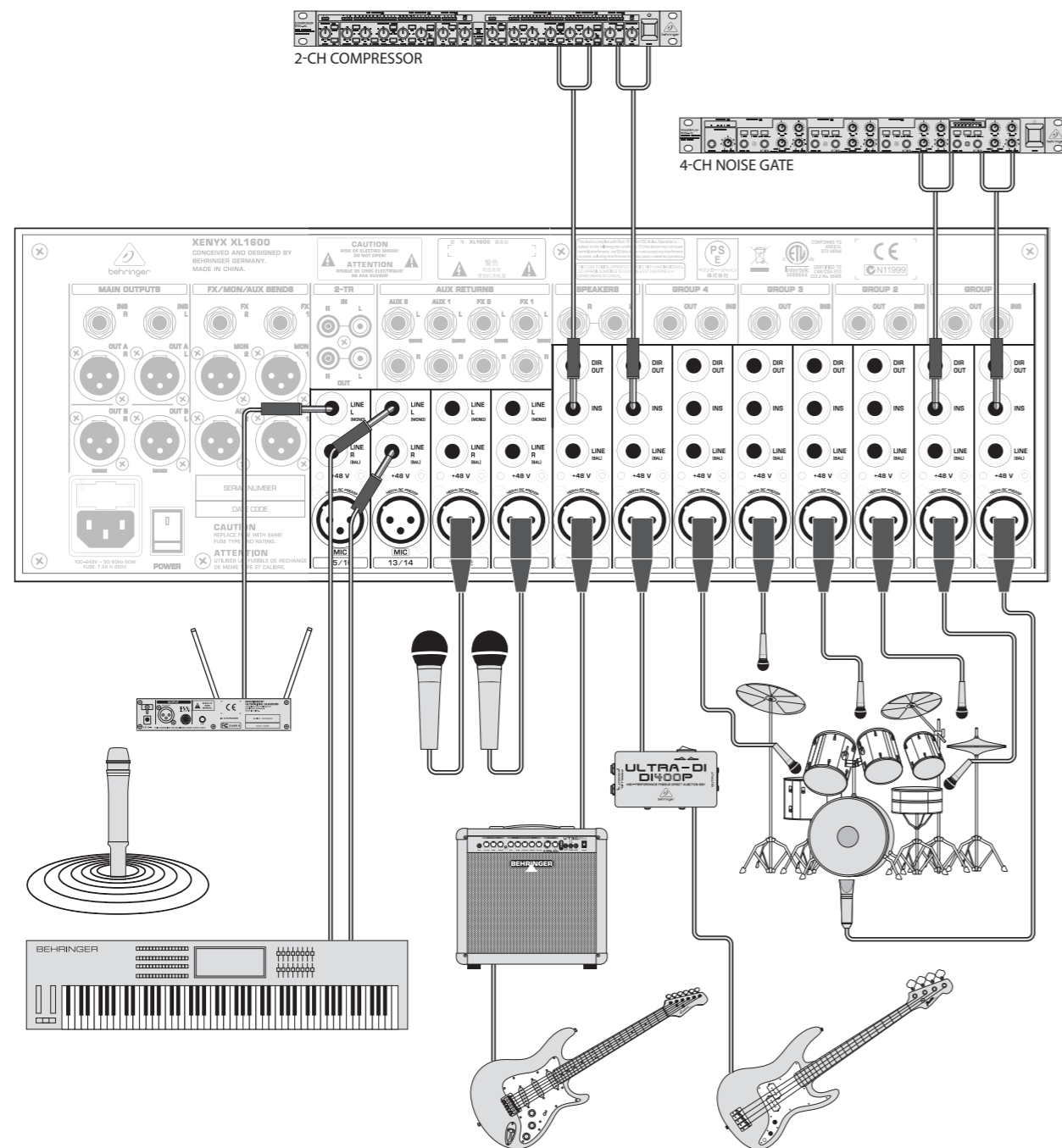
限定保証

適用される保証条件と MUSIC Group の限定保証に関する概要については、オンライン上 www.music-group.com/warranty にて詳細をご確認ください。

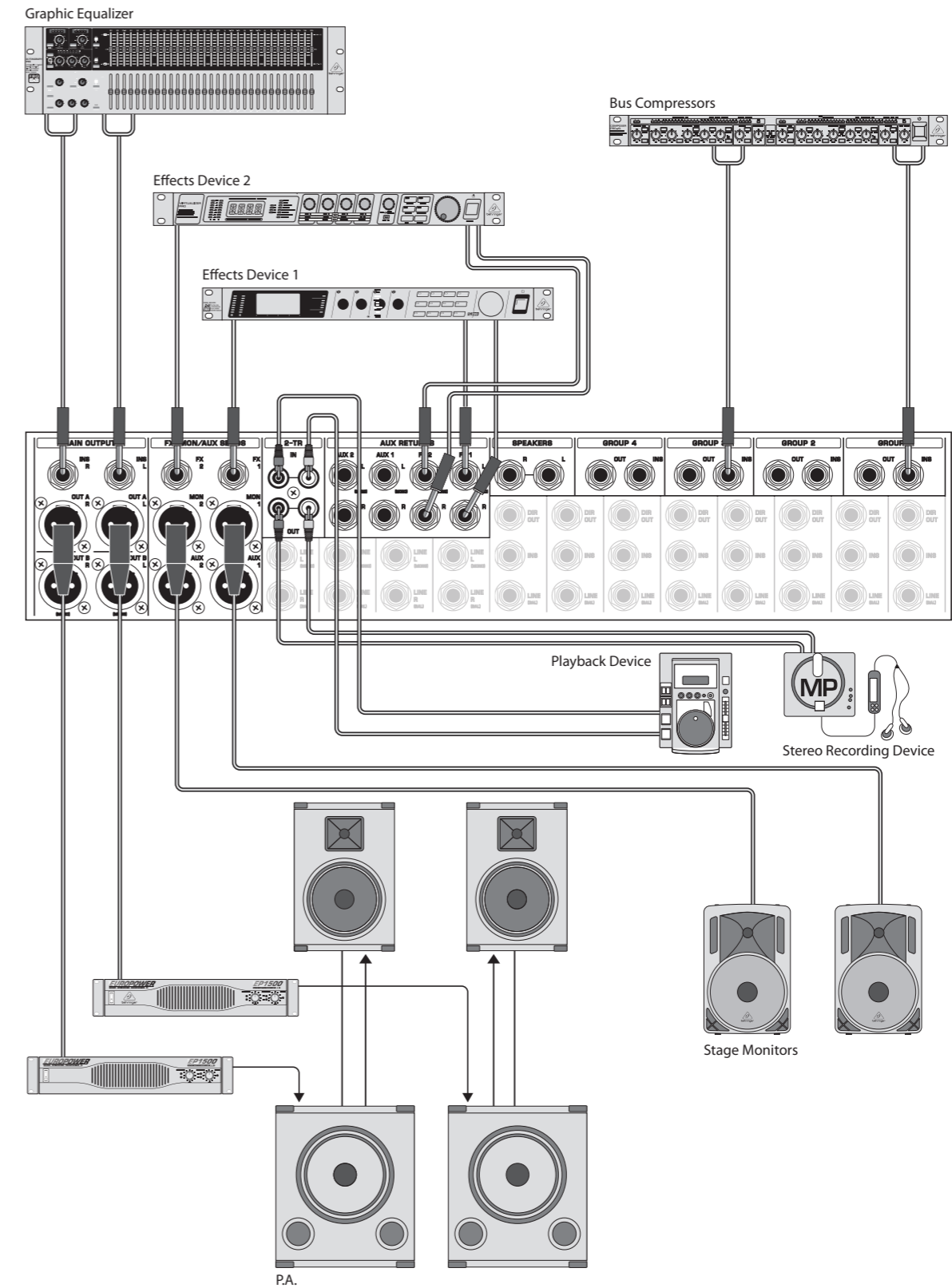
XENYX XL3200/XL2400/XL1600 フックアップ

フックアップ

接続例 (入力端子類とインサート)

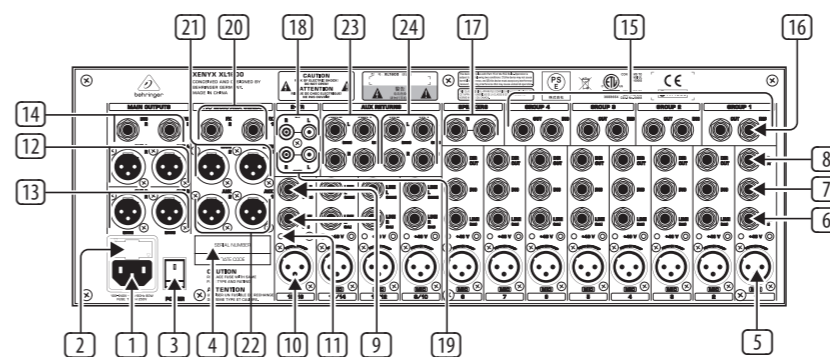
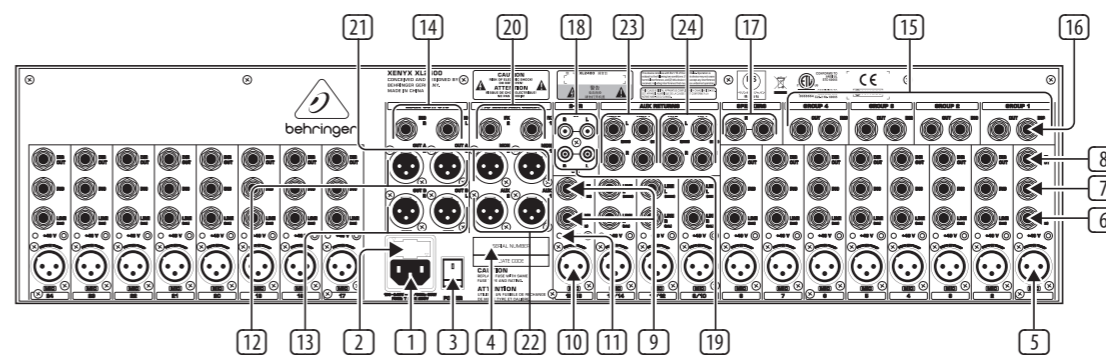
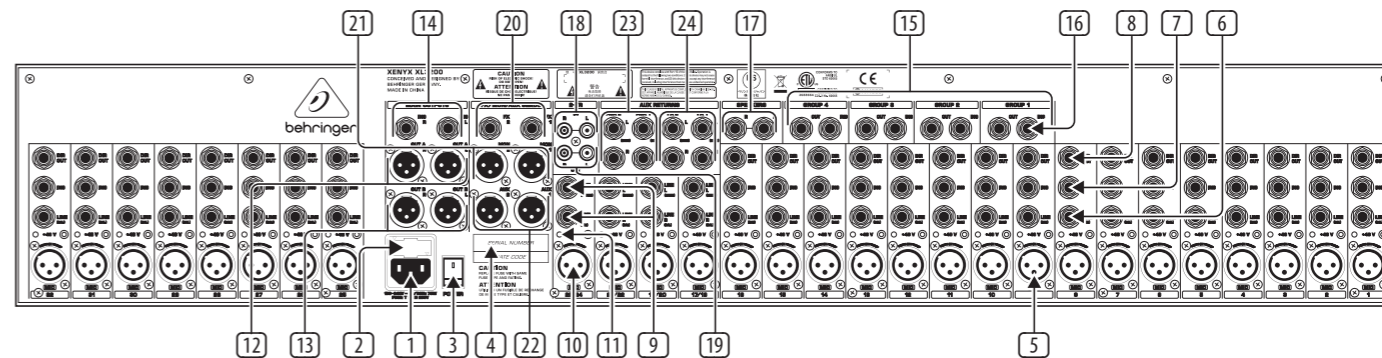
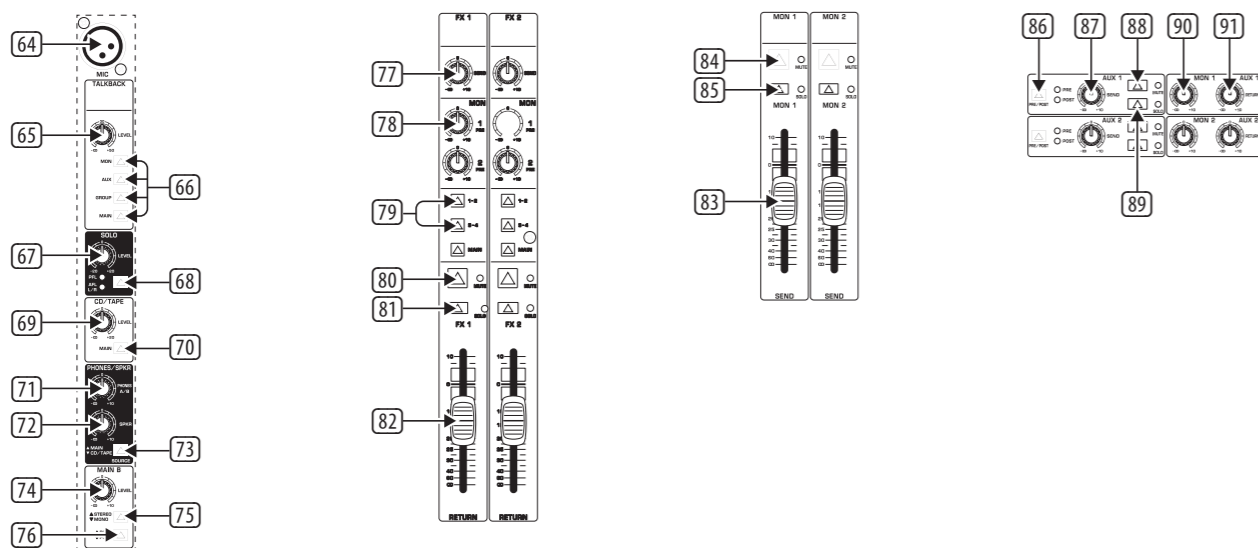
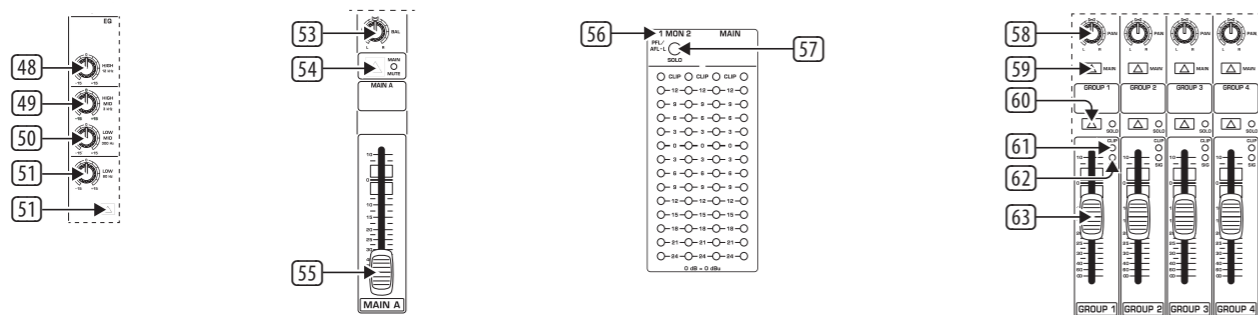
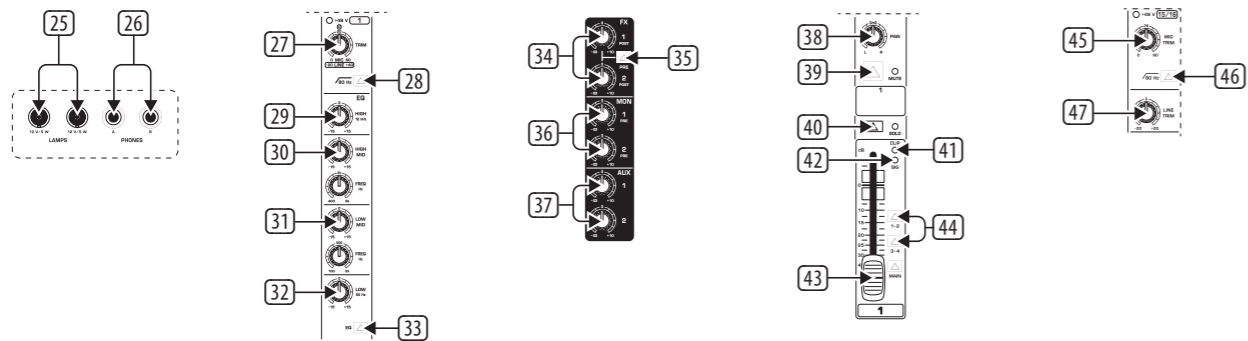


接続例 (出力端子類)



XENYX XL3200/XL2400/XL1600 コントロール

接続端子類



XENYX XL3200/XL2400/XL1600 コントロール

コントロール

- ① **IEC**。
- ② **ヒューズホルダー**。
- ③ **POWER** - この POWER スイッチで装置に電源を投入します。このスイッチは、装置を主電源につなげるまで「オフ」の状態になっていることをご確認ください。
- ④ **シリアルナンバー**。
- ⑤ **MIC** - マイク、DI ボックス、マルチコアなどを接続するバランス型 XLR 入力端子です。
- ⑥ **LINE** - キーボードや CD プレイヤーなどのラインレベル信号が接続できる 6.3mm フォンジャックです。入力部はバランス型ステレオフォンジャックとなっていますが、アンバランス型のモノラルフォンジャックでもお使いいただけます。
- ⑦ **INSERT** - INS(ert) 接続は 6.3mm ステレオフォンジャックとなっており、外部エフェクトプロセッサのループ接続用です。
- ⑧ **DIRECT OUT** - この 6.3mm モノラルフォンジャックはダイレクトアウトとなっており、信号をチャンネルフェーダーの後ろから、例えばマルチトラックレコーダーに送りこむ際などに使用されます。装置内部の基盤にモディファイを施すことによって、信号をプリフェーダーに変えることも可能です。
- ⑨ **LINE L (MONO), LINE R** - ステレオチャンネルには、左右両チャンネル用の 2 つの LINE 入力端子が 6.3mm フォンジャックで備えられています。入力端子はバランス型ステレオフォンジャック仕様ですが、アンバランス型のモノラルフォンジャックでもお使いいただけます。「L」と記された端子のみを使用すれば、チャンネルをモノラルで使用することもできます。モノラル信号を接続する際は、「L」の表示のある左チャンネル部分のみを使用してください。
- ⑩ **MIC** - ステレオ入力端子にもマイク、DI ボックスおよびマルチコア接続用の XLR 入力が備えられています。
- ⑪ **+48V** - コンデンサーマイク用のファンタム電源です。電源を入れるとスイッチ横のコントロールランプが点灯します。
- ⑫ **OUT A** - OUT A 出力端子はメインミックス信号を送るバランス型 XLR コネクターとなっており、規定操作レベルは +4dBu です。
- ⑬ **OUT B** - OUT B 出力端子は MAIN B 信号用となっており、音量調節も独立して行えます。
- ⑭ **INSERT** - チャンネルインサート同様、INS(ert) コネクターにもダイナミックプロセッサや EQなどを接続し、OUT A からのミックス信号をもう一度処理することができます。
- ⑮ **GROUP OUT 1-4** - これら 4 つの SUBGROUP OUT では各サブグループ信号が取り出されます。マルチトラックレコーディングの際は、マルチトラックレコーダーの入力端子とこの出力端子を接続してください。
- ⑯ **INSERT** - 各サブグループには INS と記されたインサート端子が備えられています。ここにノイズゲート、コンプレッサー、または EQ を接続して、サブグループ信号をまとめて処理することができます。例えば、複数のバックグラウンドシンガーの音声信号を一つのサブグループバスにルートし、これにコンプレッサーをかければ、よりコーラスらしい効果を得ることができます。インサートポイントはグループフェーダーより前の段階で接続されているので、ダイナミックプロセッサ（ノイズゲート、コンプレッサーなど）をグループフェーダーの音量レベルに影響されることなく使用することができます。
- ⑰ **SPEAKERS** - SPEAKERS 出力からはヘッドフォン出力と同じ信号が出力されます。モニタースピーカーはここに接続してください。これは特にミキサーが、演奏者のいるホールとは別の場所にある場合に便利です。ここにステージミキサーを接続してステージ上のモニターサウンドをチェックすることも可能です。その場合は、ここに接続するモニターとステージ上で使用しているモニターが同一種類のものである必要があります。
- ⑱ **IN** - これは CD プレイヤーやテープデッキなどラインレベル信号接続用の CD/TAPE INPUT RCA ピンプラグ端子です。信号音量は TO MAIN コントローラーで調節してください。
- ⑲ **OUT** - CD/TAPE 出力にはステレオメインミックス信号が送られます。ここに例えばテープデッキや DAT レコーダーを接続して、ミックスの録音を行うことができます。信号はプリフェーダーで取り込まれるため、フェーダーの動きには影響されません。
- ⑳ **FX 1 und 2** - FX 出力 1 および 2 にはエフェクトバス 1 および 2 の信号が送られます。これらの信号を外部エフェクトプロセッサに送り込み、AUX RETURN 入力もしくは独立入力チャンネルを介して再びルートしなおすこともできます。
- ㉑ **MON 1 und 2** - モニター出力 1 および 2 にはモニターバスの信号が送られます。これらの信号はステージスピーカーへ送り込むことができます。ミキサーからステージへのケーブルが長くなり、干渉が発生する恐れがあるため、この出力端子にはバランス型の XLR コネクターが採用されています。さらに、マルチコアにも対応したコネクターとなっています。
- ㉒ **AUX 1 und 2** - AUX 出力 1 および 2 には AUX バス 1 および 2 の信号が送られます。これらのバスはそれぞれプリ / ポストフェーダーの切り替えが可能となっているため、エフェクトもしくはモニター用に使用することもできます。
- ㉓ **AUX RETURN** - ステレオ AUX 入力 1 および 2 を介してプレーヤー、エフェクトプロセッサ、サブミキサーといった機器をミキサーへと送り込むことができます。これらはサム信号へとミックスされます。
- ㉔ **FX RETURN** - ステレオ FX RETURN 端子 1 および 2 は、外部エフェクトプロセッサの出力にリンクされています。ルーティングの仕方によっては、信号はサブグループまたはメインミックスバスへと送られます。
- ㉕ **LAMPS** - LAMPS プラグには BNC コネクタ付のグースネックランプを接続します。電圧は 12V で、最大消費電力は 5 ワットです。
- ㉖ **PHONES** - PHONES 出力 (6.3mm ステレオフォンジャック) にはヘッドフォンを接続してください。
- ㉗ **TRIM** - TRIM コントローラーは入力ゲインの調節に使用します。
- ㉘ **80 Hz** - 80 Hz スイッチを押すとハイパスフィルターが起動し、低周波ノイズ (-3 dB @ 80 Hz, 18 dB / オクターブ) がカットされます。
- ㉙ **HIGH** - 高周波帯域は 12 kHz 以上をシェルビングフィルターで調節可能です。
- ㉚ **HIGH MID** - セミパラメトリックピークフィルターで 400 Hz から 8 kHz 間の中音域の調節ができます。HIGH MID コントローラーでブーストまたはカットしたい周波数を選択する際は FREQ コントローラーを使用します。
- ㉛ **LOW MID** - 二つ目のセミパラメトリックピークフィルターも中音域の調節用です。HIGH MID コントローラーでブーストまたはカットしたい周波数を選択する際は FREQ コントローラーを使用します。
- ㉜ **LOW** - 低周波帯域は 80 Hz 以下をシェルビングフィルターで調節可能です。
- ㉝ **EQ** - EQ プッシュボタンを押すとイコライザーが起動します。スイッチのオンオフを繰り返すと、EQ 処理前後の音色の違いを確認することができます。
- ㉞ **FX 1 と FX 2** - FX バスは外部エフェクト機器へのセンドパスとして使用することができます。信号は通常チャンネルフェーダーの後に取り込まれるため、チャンネルフェーダーの位置に影響されます。FX コントローラーはエフェクト機器へ送られるチャンネル信号の音量を調節します。
- ㉟ **PRE** - 両エフェクトバスのルーティングを「ポストフェーダー」から「プリフェーダー」に変えるには PRE スイッチを押してください。
- ㊱ **Monitor 1 と 2 PRE** - 両エフェクトバスのルーティングを「ポストフェーダー」から「プリフェーダー」に変えるには PRE スイッチを押してください。こうすることでエフェクト信号の音量レベルはチャンネルフェーダーの影響を受けなくなります。
- ㊲ **AUX** - AUX バスは各種アプリケーション用のセンドパスとして自由にお使いいただけます。
- ㊳ **PAN** - PAN コントローラーで、ステレオミックス内、およびチャンネル信号がルートされるチャンネル信号におけるチャンネル信号のポジションを決定することができます。
- ㊴ **MUTE** - MUTE スイッチでチャンネルをミュートできます。これを押すと、チャンネル信号がメインミックスおよびサブグループから排除されます。これと同時に、該当チャンネルの FX、モニターおよび AUX バスもそれぞれミュートされます。チャンネルがミュートされると、MUTE LED が点灯します。
- ㊵ **SOLO** - ソロ機能を使うと、一つのチャンネルのみをモニターすることができます。チャンネルの SOLO スイッチを押すと、ヘッドフォンで信号をモニターすることができます。同時に、モニターメーター 1/2 がソロ信号に切り替わり、信号レベルを正確にチェックすることができるようになります。モニター信号はこの際チャンネルフェーダーおよびパンコントロールより前 (PFL, モノ) もしくは後 (AFL, ステレオ) のどちらかで取り込まれます (PFL/AFL スイッチのポジション次第)。ソロ機能が有効になると該当する LED が点灯します。
- ㊶ **CLIP** - チャンネルのレベルが高すぎると CLIP LED が点灯します。この場合は、TRIM コントローラーでチャンネルの入力レベルを下げてください。
- ㊷ **SIG** - チャンネルに -20 dB 以上の信号が流れると SIG LED が点灯します。LED はフェーダーには影響されません。フェーダーが下げられ、チャンネルがミュート状態にあっても、信号は検出されます。
- ㊸ **フェーダー** - チャンネルフェーダーで、メインミックスおよびサブグループに送られる信号のレベルを調節します。
- ㊹ **1-2, 3-4, MIX** - ルーティングスイッチは信号をサブグループもしくはメインミックス、またはその両方へとルートします。XENYX には 4 つのサブグループがあります。PAN コントローラーで信号をルートさせたいグループを決定することができます (左に廻きると SUB 1 または 3、右に廻きると SUB 2 または 4)。

XENYX XL3200/XL2400/XL1600 コントロール

コントロール

- 45 **MIC TRIM** - MIC TRIM コントローラーでマイク入力の増幅レベルを調節できます。増幅は 0 ~ +60 dB 間で行えます。
- 46 **80 Hz** - 80 Hz スイッチを押すとハイパスフィルターが起動し、低周波ノイズ (-3 dB @ 80 Hz, 18 dB / オクターブ) がカットされます。
- 47 **LINE TRIM** - LINE TRIM コントローラーで LINE 入力のレベルを -20 ~ +20 dB 間で調節できます。センターポジションでは、ライン信号はブースともカットもされません。
- 48 **HIGH** - EQ セクションの HIGH コントローラーで、該当チャンネルの高周波帯域を調節できます。これは 12 kHz 以上の周波数帯域をブースト / カットするシェルピングフィルターとなっています。
- 49 **HIGH MID** - HIGH MID コントローラーで中音域の調節ができます。これは 3 kHz 前後の周波数をブースト / カットするピークフィルターとなっています。
- 50 **LOW MID** - LOW MID コントローラーで中音域の調節ができます。これは 300 Hz 前後の周波数をブースト / カットするピークフィルターとなっています。
- 51 **LOW** - LOW コントローラーで低周波帯域の調節ができます。これは 80 Hz 以上の周波数帯域をブースト / カットするシェルピングフィルターとなっています。
- 52 **EQ** - EQ プッシュボタンを押すとイコライザーが起動します。スイッチのオンオフを繰り返すと、EQ 処理前後の音色の違いを確認することができます。
- ステレオチャンネルの AUX および FX バスは、基本的にモノチャンネルでのそれと同じ働きをします。AUX バスがモノラルであるため、ステレオ信号はこれらのバスにルートされる前にモノ信号へと変換される必要があります。
- 53 **BAL(ANCE)** - BAL(ANCE) コントローラーは、信号が MAIN A 出力にルートされる前に出力信号の左右ミックスレベルの調節を行います。これで、ミキサーサム信号の左右音量レベルを必要に応じて個別に設定することができます。
- 54 **MAIN MUTE** - MAIN MUTE スイッチを押すとすべての入力チャンネルがミュートされます。チャンネルがミュートされると MUTE LED が点灯します。これによって、休憩時やセットチェンジ時にマイクがノイズや干渉を拾い、PA システムに流してしまうことを防ぐことができます。場合によってはスピーカーのダイアフラムを破壊してしまうこともあります。このスイッチの特に優れた特徴は、メインミックスフェーダーを調節することなく、CD / テープ入力 (参照) からの CD 音源をプレイバックできることです。ミュートされたチャンネルのフェーダーを下げる必要もありません。
- 55 **MAIN A** - この正確な MAIN A フェーダーを使って、メインミックス信号の出力レベルをコントロールすることができます。
- MAIN B セクションの設定によっては、MAIN B 出力のレベルは MAIN A フェーダーに影響されます。
- 56 **1 MON 2** - モニターメーターは、モニターバス 1 および 2 のレベルを表示します。
- 57 **SOLO** - ミキサーの SOLO スイッチを押すと、該当する LED が点灯するだけでなく、グローバル SOLO LED も点灯します。
- 58 **PAN** - PAN コントローラーでステレオイメージ内のポジションを決定することができます。
- 59 **MAIN** - MAIN スイッチはサブグループ信号をメインミックスへとルートします。
- 60 **SOLO** - SOLO スイッチで、サブグループ信号を PFL バス (プリフェーダー) または AFL バス (ソロインブレス) に送り込むことができます。これによってメイン出力またはサブ出力信号に影響を与えることなくサブグループ信号のモニターが可能となります。
- 61 **CLIP** - サブグループ信号のレベルが高くなりすぎると CLIP LED が点灯します。この場合は、このグループにルートされているチャンネルのフェーダーを下げてください。
- 62 **SIG** - サブグループに -20 dB 以上の信号が流れるとこの SIG LED が点灯します。
- 63 **フェーダー** - サブグループフェーダーで、サブグループ出力から出力されるサブグループ信号の音量レベルを調節できます。MAIN スイッチが入っている

- る場合は、このスイッチでメインミックス内のサブグループの音量レベルを調節できます。
- 64 **MIC** - トークバックで使用するためのマイクをここに接続します。
- 65 **LEVEL** - LEVEL コントローラーでトークバック信号の音量レベルを調節します。
- 66 **MON, AUX, GROU, MAIN** - このプッシュボタン (MON, AUX, GROUP および MAIN) で、トークバック信号をどの出力 / バスへルートするかを決定します。ルート先を決定したらトークバックマイクの電源を入れてください。マイクに話している間は、プッシュボタンを押し続けてください。
- 67 **SOLO LEVEL** - SOLO LEVEL コントローラーでヘッドフォンおよびスピーカー出力へルートされるすべてのソロ信号の音量レベルを調節します。
- 68 **PFL/AFL** - PFL/AFL スイッチを押すと、ソロ機能が PFL モノ (プリフェーダー) から AFL ステレオへと切り替わります。スイッチ横の LED に選択内容が表示されます。PFL モードでは、ソロスイッチを入れると信号はプリフェーダーで取り込まれます。AFL モードではポストフェーダーで取り込まれ、ステレオとなります。
- 69 **LEVEL** - CD/Tape 入力端子を例えば CD プレイヤーなどに接続した場合、この LEVEL コントローラーでメインミックス内における信号の音量を調節することができます。
- 70 **MAIN** - MAIN スイッチを押すと、CD 信号がメイン出力へルートされます。CD 信号は、MAIN MUTE スイッチを押しても可聴状態となります。そのため、セットチェンジなどの際に CD からの音楽をプレイバックすることができます。
- 71 **PHONES/SPEAKER** - PHONES A/B コントローラーでヘッドフォン出力の音量を調節することができます。
- 72 **SPKR** - SPKR コントローラーで SPEAKERS 出力へ送り込まれる出力レベルの調節が行えます。
- 73 **SOURCE** - SOURCE ボタンでヘッドフォンおよびスピーカー出力へ送る信号音源の選択ができます (メインもしくは CD/TAPE 信号)。ソロスイッチを押すと、ソロ信号はこの SOURCE ボタンに関係なく両出力端子へと送り込まれます。
- 74 **LEVEL** - LEVEL コントローラーで MAIN B 出力に送り込まれる信号の音量を調節することができます。
- 75 **STEREO/MONO** - STEREO/MONO スイッチを押すと、MAIN B 信号をモノラルからステレオへと変えることができます。例えば、モノ信号は通常センタークラスターで使用されます。
- 76 **PRE/POST** - PRE/POST スイッチで、MAIN B 信号を MAIN A フェーダーの前段階 (プリフェーダー) でとりこむか、後段階 (ポストフェーダー) で取り込むかを決定できます。
- 77 **FX SEND** - このマスター FX 1 (または 2) SEND コントローラーで、各 FX センド端子 (参照) および内蔵エフェクトプロセッサの入力部に流される全ての FX センド信号の音量を調節できます。入力チャンネルからの全ての FX 1/FX 2 信号のマスター信号をコントロールする際に使用します。どちらの FX SEND コントローラーも使用していない場合は、エフェクトプロセッサへ入力信号は流れません。
- 78 **MON** - MON コントローラーでエフェクト信号をモニターバス 1 および 2 にミックスすることができます。この場合は、まずエフェクト機器に信号が流れている必要があります。つまり、該当するチャンネルストリップ部のマスター FX SEND コントローラーと FX センドコントロールを廻し、チャンネルフェーダーを上げてください。
- 79 **1,2,3,4** - ルーティングスイッチを使ってエフェクト信号をメインミックス、もしくはサブグループ 1-2 および 3-4 に送り込むことができます。例えばコーラス用にサブグループを生成した場合、すべての信号が等しく調節できるよう、ボーカル信号処理用のエフェクトも同じサブグループへとかける必要があります。この場合、コーラスの音量レベルがサブグループフェーダーの方で調節されている限り、FX センドがポストフェーダーとなっても影響はありません。そうでなければ、エフェクト信号は一切処理されないままメインミックスに取り込まれることでしょう。
- 80 **MUTE** - MUTE スイッチでエフェクトリターンバスをミュートできます。この機能は、曲間に MC を行うヴォーカルマイクからリバーブ効果を取り除く際に便利です。チャンネルがミュートされると該当する MUTE LED が点灯します。
- 81 **SOLO** - SOLO スイッチを押すと、エフェクト信号がヘッドフォン / スピーカーでモニター可能となり、モニターメーター 1/2 でチェック可能となります。ソロ機能が有効になると、該当する LED が点灯します。
- 82 **FX RETURN** - FX リターンフェーダーで、メインミックスおよびサブグループ内における送り戻されたエフェクト信号 (リターン信号) の音量レベルを調節できます。
- 83 **SEND** - SEND フェーダーでモニターバスの出力レベルを調節することができます。各フェーダーともに 60 mm の長さで、10 dB のヘッドルームとなっています。
- 84 **MUTE** - モニターセンドにも同様に MUTE スイッチと MUTE LED が備えられています。
- 85 **SOLO** - ステージサウンドの音響調節には、SOLD スイッチを押してモニター信号をヘッドフォンおよびスピーカー出力へと送ってください。
- 86 **PRE/POST** - AUX バス用のグローバル PRE/POST スイッチです。最大限の柔軟性を実現するため、各 AUX バスはそれぞれプリフェーダーからポストフェーダーへと切り替え可能となっています。
- 87 **AUX SEND** - マスター AUX センドコントロール 1 と 2 は、各 AUX センド端子の音量レベルを調節します。こうして入力チャンネルの AUX 1 および AUX 2 のサム信号の調節ができます。
- 88 **MUTE** - MUTE スイッチで Aux 出力端子をミュートすることができます。
- 89 **SOLO** - SOLO 機能を使えば、Aux センド信号も独立してモニターすることができます。
- 90 **MON** - AUX RETURN に接続された信号は、MON コントローラーでステレオミックスに送り込むことができます。
- 91 **AUX RETURN** - AUX RETURN コントローラーでメインミックス内における Aux Return 信号の音量を調節することができます。

技術仕様

	XL3200	XL2400	XL1600
モノラル入力			
マイク入力 (XENYX Mic Preamp)			
タイプ	XLR 接続, フォンジャック, 別系統入力		
Mic E.I.N.¹ (20 Hz - 20 kHz)			
@ 0 Ω 入力インピーダンス	-127 dB / 129.7 dB 出力スケール		
@ 50 Ω 入力インピーダンス	-126 dB / 128.3 dB 出力スケール		
@ 150 Ω 入力インピーダンス	-125 dB / 126.5 dB 出力スケール		
周波数帯域			
To Direct Out	<10 Hz - 500 kHz (-1 dB) <10 Hz - 100 kHz (-3 dB)		
To Insert Send	<10 Hz - 90 kHz (-1 dB) <10 Hz - 170 kHz (-3 dB)		
増幅域	0 dB から +60 dB		
最高入力レベル インピーダンス	+24 dBu @ +0 dB ゲイン 約 2 kΩ バランス		
S/N 比	120 dB / 122 dB 出力スケール (0 dBu In @ +22 dB ゲイン)		
歪み率 (THD + N)	0.0008 %		
ライン入力			
タイプ	6.3 mm ステレオフォンジャック, フォンジャック		
インピーダンス	約 20 kΩ バランス, 約 10 kΩ アンバランス		
増幅域	-20 dB から +40 dB		
最高入力レベル	+22 dBu @ 0 dB ゲイン		
チャンネルインサート			
タイプ	6.3 mm ステレオフォンジャック, アンバランス		
最高入力レベル	+22 dBu		
Channel Direct Outs			
タイプ	6.3 mm ステレオフォンジャック, アンバランス		
インピーダンス	75 Ω		
最高入力レベル	+22 dBu		
フェードアウト減衰² (クロストーク減衰)			
メインフェーダーが閉じている場合	100 dB		
チャンネル音量を切っている場合	90 dB		
チャンネルフェーダーが閉じている場合 ^W	85 dB		
周波数帯域 (Mic In → Main Out)			
<10 Hz - 90 kHz	+0 dB / -1 dB		
ステレオ入力			
タイプ	2x6.3 mm ステレオフォンジャック, バランス		
インピーダンス	約 20 kΩ バランス, 10 kΩ アンバランス		
増幅域	-20 dB から +20 dB		
最高入力レベル	+22 dBu @ 0 dB ゲイン		
CD/Tape In			
タイプ	RCA		
インピーダンス	約 4.7 kΩ		
最高入力レベル	+22 dBu		

	XL3200	XL2400	XL1600
イコライザ			
EQ モノラルチャンネル			
低域	80 Hz / ±15 dB		
Low Mid	100 Hz から 2 kHz / ±15 dB		
High Mid	400 Hz から 8 kHz / ±15 dB		
高域	12 kHz / ±15 dB		
ローカット	80 Hz, 12 dB/oct.		
EQ ステレオチャンネル			
低域	80 Hz / ±15 dB		
Low Mid	300 Hz / ±15 dB		
High Mid	3 kHz / ±15 dB		
高域	12 kHz / ±15 dB		
AUX/MON Send			
タイプ	6.3 mm モノラルフォンジャック, アンバランス		
インピーダンス	約 75 Ω		
最大出力レベル	+22 dBu		
FX Send			
タイプ	6.3 mm モノラルフォンジャック, アンバランス		
インピーダンス	約 75 Ω		
最大出力レベル	+22 dBu		
AUX/FX Returns			
タイプ	6.3 mm モノラルフォンジャック, アンバランス		
インピーダンス	約 20 kΩ		
最高入力レベル	+22 dBu		
サブグループ出力			
タイプ	6.3 mm モノラルフォンジャック, アンバランス		
インピーダンス	約 75 Ω		
最大出力レベル	+22 dBu		
Group Inserts			
タイプ	6.3 mm ステレオフォンジャック, アンバランス		
最高入力レベル	+22 dBu		
メイン出力 A/B			
タイプ	XLR 接続, フォンジャック		
インピーダンス	約 240 Ω バランス, 120 Ω アンバランス		
最大出力レベル	+25 dBu		
Main Inserts			
タイプ	6.3 mm ステレオフォンジャック, アンバランス		
最高入力レベル	+22 dBu		
SPKR			
タイプ	6.3 mm モノラルフォンジャック, アンバランス		
インピーダンス	約 75 Ω		
最大出力レベル	+22 dBu		
Low Pass	可変, 30 Hz から 200 Hz, 18 dB/oct.		
Phones 出力			
タイプ	6.3 mm ステレオフォンジャック, アンバランス		
最大出力レベル	+22 dBu / 600 Ω		

	XL3200	XL2400	XL1600
CD/Tape Out			
タイプ	RCA		
インピーダンス	約 1 kΩ		
最大出力レベル	+15 dBu		
メインミックス・システムデータ³ (ノイズ)			
Main mix @ -∞, チャンネルフェーダー @ -∞	-110 dB / -114 dB 出力スケール		
Main mix @ 0 dB, チャンネルフェーダー @ -∞	-95 dB / -98 dB 出力スケール		
Main mix @ 0 dB, チャンネルフェーダー @ 0 dB	-92 dB / -95 dB 出力スケール		
電源供給			
消費電力	70 W	65 W	60 W
ヒューズ	(100 - 240 V~, 50/60 Hz) T 2.0 A H 250 V		
電源接続	標準 IEC 電源コネクタ		
外形寸法および重量			
外形寸法 (高さ x 幅 x 奥行)	180 x 910 x 540 mm	180 x 705 x 540 mm	180 x 495 x 540 mm
質量 (正味重量)	14.9 kg	11.7 kg	8.6 kg

- Equivalent Input Noise
- 0 dBu あたり 1 kHz rel., 20 Hz ~ 20 kHz, ライン入力, メイン出力, ゲイン @ ユニティ
- 20 Hz ~ 20 kHz, メイン出力によるチャンネル 1~4 ゲイン @ ユニティ, サウンドコントロール ニュートラル, 全チャンネル メインミックス 設定, チャンネル 1/3 左端, チャンネル 2/4 右端レファレンス = +6 dBu

BEHRINGER 社は、最高の品質水準を保つ努力を常に行っています。必要と思われる改良等は、事前の予告なしに行われますので、技術データおよび製品の写真が実物と多少相違する場合がありますが、あらかじめご了承ください。技術仕様および外観は予告なく変更する場合があります。

その他の重要な情報

JP

JP その他の重要な情報

- 1. ヒューズの格納部 / 電圧の選択:**
ユニットをパワーソケットに接続する前に、各モデルに対応した正しい主電源を使用していることを確認してください。ユニットによっては、230V と 120V の 2 つの違うポジションを切り替えて使う、ヒューズの格納部を備えているものがあります。正しくない値のヒューズは、絶対に適切な値のヒューズに交換されている必要があります。
- 2. 故障:** MUSIC Group デイラーがお客様のお近くにはないときは、behringer.com の “Support” 内に列記されている、お客様の国の MUSIC Group ディストリビューターにコンタクトすることができます。お客様の国がリストにない場合は、同じ behringer.com の “Support” 内にある “Online Support” でお客様の問題が処理できないか、チェックしてみてください。あるいは、商品を返送する前に、behringer.com で、オンラインの保証請求を要請してください。
- 3. 電源接続:** 電源ソケットに電源コードを接続する前に、本製品に適切な電圧を使用していることをご確認ください。不具合が発生したヒューズは必ず電圧および電流、種類が同じヒューズに交換する必要があります。



We Hear You